市川市議会議員 石原よしのり通信



テスラ車導入やシャワー室設置など呆れた施策を繰り返し、全国に悪名をはせ市川市の 評判を地に落とした村越前市長が去り、4月から田中新市政が始まりました。

そして6月に、田中新市長にとって初めての議会が開かれました。

○ 市長の所信表明、田中市政への期待がふくらむ

議会の冒頭に、市長が所信表明演説を行いました。

「市民の声を聞き市民目線、現場主義で市民と共に市政を行う。自然豊かな文教都市の魅力を高めるために全力をつくす。以下の7つの基本政策に取り組んで、特に子育て支援に力を入れ、格差のないまち、健康寿命日本一のまちをめざす。」という趣旨でした。

- ①行財政運営: タウンミーティング、情報公開、市長報酬削減、メリハリのある財政運営
- ②防災・防犯: 防災力強化、避難所充実、防犯灯防犯カメラ増設
- ③まちづくり: 無電柱化、空家対策、押切橋実現、デジタル地域通貨、Wi-Fi 環境整備
- ④環境: 環境意識向上、クリーンセンター建替え、ごみ対策、動物愛護、自然環境保全
- ⑤ 文化スポーツ: 健康で健全な社会実現、多様なスポーツ振興、文化振興
- ⑥子ども・教育: 子育て環境整備、医療ケア、発達支援、給食費無償化、子ども食堂支援
- ⑦保健・福祉: 高齢者・障がい者の心身の健康づくりと社会参加支援

○ 市長の給与3割カット、退職金ゼロに

市長は自らの政治姿勢として選挙で公約した通り、今後4年間の市長給与を3割カット、 退職金をゼロにする条例案を提出し、市議会で可決されました。

市政を預る者として、「為政清明」を信条に、市政に対する信頼を回復したいというのが 理由です。為政清明とは、政(まつりごと)を行うには、心も態度も清く明るくなければなら ないという大久保利通の言葉です。この決意をいつまでも忘れずにいてほしいと思います。

「石原よしのり市政報告会」

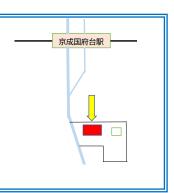
6月議会の報告、市政についての意見交換

日時: 7月24日(日) 15:00~17:00

場所: 市川3丁目第 | 町会会館「パレットハウス」

(京成国府台駅徒歩3分 春日神社内)

どなたでもお気軽にご参加ください。 入場無料です。



石原よしのり 一般質問の抜粋

(1) 給食費無償化

「子どもたちの未来は市川の未来」と、子育て支援を最も大きな市政のテーマとして示した田中市長が就任早々打ち出した政策が、小中学校の給食費の無償化です。市内の小中学生3万人の給食費を無償化するには年間16億円かかります。全国には給食費を無償化した自治体もありますが、児童数の少ない地方の小規模な自治体ばかりです。首都圏の大都市では前例のない完全無償化を早期に実現できれば、市川市の子育て支援の姿勢を強力に示すことができます。私が5年前に議会で強く求めたのに、これまで応じてもらえなかった政策です。田中市長のもと、早期の完全無償化を実現するよう求めました。

(2) クリーンセンター建て替えとごみ減量化

本市のクリーンセンター(ごみ焼却場)は稼働開始後 30 年近くたっており、 老朽化が進んでいます。現在進めている建て替え計画では、新しい焼却設備の 完成は 2030 年になる予定です。巨額の建設費を抑えるためには、燃やすごみを大きく減らして、設計処理能力をできるだけ小さくすることが必要です。ごみ減量を検討してきた審議会の答申では、有効な対策として家庭ごみの有料化が 提言されています。すでに全国の6割の自治体がごみ有料化を導入しており、 近隣では千葉市、野田市、八千代市などが有料化しています。ごみの減量化によって節約できた建設費や年間の収集・処理費用は、市民の福祉などに回すことができます。タイミングを逃さず有料化の検討を進め、導入が決まった際には 市長が先頭に立って丁寧な説明で市民の理解を得るよう求めました。

石原よしのりプロフィール

1983年 東京大学卒業 (農学部 森林,林業政策専攻)

1983年 王子製紙入社、27年間勤務。事業管理、経営企画、海外事業などを担当

1990 年 米国 Wake Forest 大学大学院卒業(経営学修士 MBA)

2011年 市川市議会議員に当選、現在3期目



〒272-0826 市川市真間 4-11-C202

TEL: 047-710-0958 FAX: 047-710-0959

メールアドレス: yoshinori.ishihara@gmail.com

ホームページアドレス: http://ishihara-yoshinori.jp



連絡先